



義務教育学校 第9学年
第37号
平成30年12月21日発行
タイトル
9-A

再び経験する附属の学校文化

教頭

2018年も残りわずか。先日は、今年の漢字として「災」が選ばれました。なるほど、福井も2月は大雪で、全国的に災害の多かった年でした。皆さんの今年の一字は何でしょうか？今年一年経験したことは人それぞれで、「新」「挑」「満」等色々な漢字があると思います。私の一字は「再」です。今年は「再び」ということが多かった1年でした。この附属義務教育学校に再び勤務することになり、校長先生を始め福井大学の先生方や副校長先生と再会することができました。

さて、再び附属に勤務することになり、附属ならではの良さを再確認することができました。生徒主体の活動は、やはり附属を象徴するものです。演劇や学年プロジェクトなどの活動、合唱祭等は脈々と受け継がれているもので、私もかつて経験した附属ならではの学校の文化です。附属で学ぶ生徒の皆さんも先生方もその良さを実感しているからこそ、代々人が替わっても、その形を十年、二十年と残してきたのだと思います。

人が替わっても受け継ぎ、創られていく附属の学校文化。伝統的な学校行事を通して、皆さんも、先生方も成長していく姿が見られます。いろいろ悩んだり、周りの人と相談したりしながら、より良いものを目指して活動を創っていく力は、これから未来を切り開いていく皆さんにとって、正に必要とされる力です。そういう未来を創造していく力を、皆さんはこの附属の学校文化を通して着実に身につけていきます。また、先生方も、この附属の学校文化を経験することで、皆さんと同様、自身の教員として力を磨いていきます。私自身、前回の附属勤務では附属の学校文化に育てられ、多くのことを吸収し、教師として成長できたと思っています。今年からまた、幸せなことに附属の文化を再び経験することになりました。皆さんや先生方が附属の学校文化を経験し附属に来てよかったと思えるよう、これからも陰ながら応援していきます。そして、学校文化を大切にする附属義務教育学校が、ここに集う生徒や教師にとって、自身を大きく成長させる学校であり続けて欲しいと願います。



○生徒達の活動の様子

～全校書写（12/7）～

後期中間テストも終わった 12/7(金)、全校書写が行われました。9年生の課題は「鼓動」。皆、とても素晴らしい字を書き上げていました。



～後期リーダー研修会（12/17）～

後期のリーダー研修会のテーマは「附属の授業をよりよくするために」でした。研修会では、附属の授業をより良いものにしていくには、やはり生徒が主体的に取り組まなくてはならない、そのために自分たちはどうするか、これまでの授業の様子などを自分たちでふり返りながら盛んに意見が交わされ、リーダー達の熱意を感じました。

